



外観

米沢市上杉博物館

「米沢市上杉博物館」には、数千に及ぶ上杉氏ゆかりの貴重な品々や国宝が収蔵されています。展示室は「常設展示室」と「企画展示室」に分かれていて、常設展示室では上杉の歴史と文化を中心とした「江戸時代の置賜・米沢」を主軸に構成されています。企画展示室では、置賜の歴史、上杉文化など歴史や美術に関する企画展や、郷土ゆかりの作家や作品を取上げた展示を行います。



洛中洛外図

施設概要

所在地 〒992-0052 山形県米沢市丸の内1丁目2番1号
 電話 伝国の杜 0238-26-8000
 置賜文化ホール 0238-26-2666
 米沢市上杉博物館 0238-26-8001
 FAX 0238-26-2660
 名称(設置者) 置賜文化ホール (山形県)
 米沢市上杉博物館 (米沢市)
 管理運営機関 米沢市
 設計監理 関・空間設計
 劇場コンサルタント A.T.Network
 敷地面積 33,887.3㎡
 延床面積 置賜文化ホール 4,321.460㎡
 米沢市上杉博物館4,725.937㎡
 規模・構造 地上2階、RC造一部SRC・S造



エントランス



米沢市は、「置賜(おきたま)地域」と呼ばれている県南3市5町の中心都市で、行政、産業、教育・文化等幅広い面での中心性を持っています。また、国立山形大学工学部と山形県立米沢女子短期大学は、高等教育機関としての機能だけでなく、産・学・官交流等様々な活動を通して、地域の産業・文化の振興に大きく寄与しています。



夜景

株式会社 松村電機製作所

<http://www.matsumuradenki.co.jp>

本社 〒113-0031 東京都文京区根津2-12-1 TEL03(3821)6169(代) FAX03(5685)3144
 東京支店 〒110-0008 東京都台東区池之端2-7-17井門池之端ビル4階 TEL03(3821)6161(代) FAX03(3821)6186
 関西支店 〒530-0043 大阪市北区天満2-12-16 TEL06(6352)0245(代) FAX06(6352)2972
 中部支店 〒460-0008 名古屋市中区栄4-7-10栄第8ロイヤルビル TEL052(265)1591(代) FAX052(265)1590
 九州支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-15-20EMビル TEL092(451)3831(代) FAX092(451)3829

東北支店 〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-6-2KJビルディング TEL022(221)7791(代) FAX022(267)6892
 中国支店 〒730-0032 広島市中区立町1-2 0広島立町NCFビル TEL082(245)8161(代) FAX082(245)1537
 札幌営業所 〒060-0063 札幌市中央区南三条西3-8-1スワン札幌ビル TEL011(210)9561(代) FAX011(210)9562
 沖縄営業所 〒900-0033 那覇市久米1-15-1上山ビル TEL098(860)6377(代) FAX098(860)6392
 MVFビル福岡 〒110-0008 東京都台東区池之端2-7-17井門池之端ビル4階 TEL03(3821)6161(代) FAX03(3821)6186
 サービスセンター 〒125-0052 東京都葛飾区柴又3-5-6 TEL03(3607)2166(代) FAX03(3627)2505

ISO9001:2000認証
JUSE-RA-1041

置賜文化ホール



OKITAMA CULTURE HALL

伝国の杜

置賜文化ホール

ひとことPR

館長 小関 薫さんに伺いました。

山形県と米沢市が協力して建設した「置賜文化ホール・米沢市上杉博物館」(愛称『伝国の杜』)が、米沢藩主・上杉氏が米沢に入部して400年、上杉鷹山が生誕して250年という大きな節目の年の平成13年9月29日に開館しました。

『伝国の杜』が位置する松が岬公園周辺一帯は、米沢城址・上杉神社をはじめとした城下町の歴史の薫りと風情を漂わせる置賜地域の歴史・文化の中心であり、山形県内有数の観光名所でもあります。また、米沢市景観形成重点地区として周辺の環境や景観と調和するように建物や広場・緑地を整備しており、「平成13年度やまがた景観デザイン賞」を受賞しております。

空気浮上式移動能舞台を有する500席のホールと洛中洛外図屏風と上杉家文書の二つの国宝を有する博物館。全国でもあまり例のないホールと博物館の合築施設として、相互の特色を活かして連携を図りながら多彩な事業を展開していきたいと考えております。

『伝国の杜』は地域の芸術・文化の殿堂として、また全国への文化発信の拠点として地域の人たちには「誇り」を、訪れた方には「感動」を与えることができる施設を目指しておりますので、皆様のご利用・ご来場をスタッフ一同心からお待ちしております。



ホール概要

客席数 500人(車椅子用スペース2台分有)
 能舞台設営時 552人
 脇花道設営時 470人
 客席形式 単床式

主舞台規模 間口18.0m×奥行14.2m×高さ9.0m
 主舞台面積 約255㎡

音響反射板設置時 舞台面積 約155㎡
 袖舞台規模 上手：7.8m×12.8m
 下手：7.8m×13.2m



劇場



緞帳/福王寺一彦「月映る頃」



コンサートホール

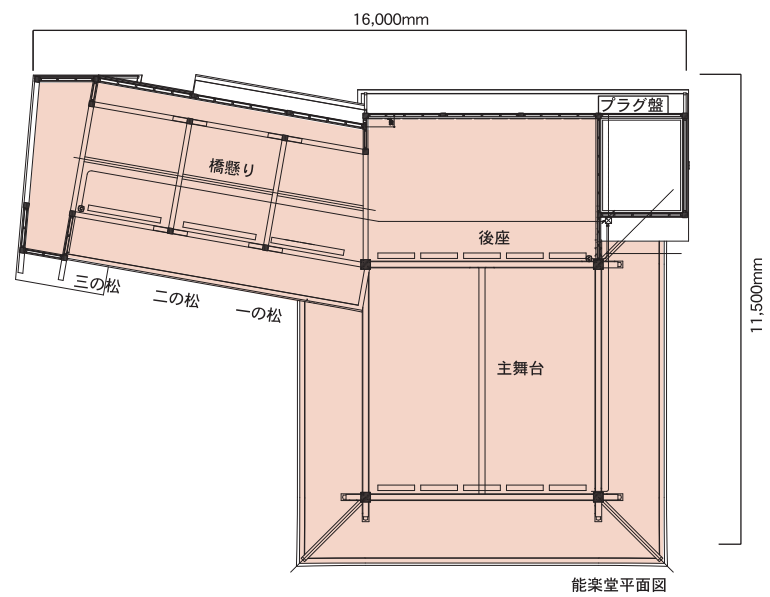
能楽堂



負荷設備

能舞台照明器具
 主舞台 200Wハロゲン×6灯 4色 L=0.9×5本
 後座 150Wハロゲン×6灯 4色 L=0.9×5本
 橋懸り 100Wハロゲン×12灯 4色 L=1.8×3本

能舞台用電源盤 Mccb 4P 50AF/50AT×1 (メイン) 1面直12回路
 リモコンプレーカー2P 50AF/20AT×12
 リモコンスイッチ×12
 C型20Aコンセント×12ヶ付
 能舞台用プラグ盤 C型 20Aプラグ×12ヶ付 1面



能楽堂平面図

能舞台
 能や狂言等の公演時には、エントランスホール
 に展示してある能舞台が空気浮上方式で移動し、
 脇正面席を含めたホール内は、能楽堂の雰囲気となります。

負荷設備

設備容量 500KVA MCCB4P 2000AF/1800AT
 舞台調光器 3KW×203台
 客席調光器 2KW×33台
 負荷回路数 調光203回路 直29回路

フットライト 60Wハロゲン×12灯 4色配線 L=1.8m 9本
 客席ウォールコンセント C型 60Aコンセント×2ヶ口 2ヶ 直4回路
 前フロアコンセント C型 30Aコンセント×4ヶ口 2ヶ 8回路
 袖フロアコンセント C型 30Aコンセント×3ヶ口 4ヶ 12回路
 C型 30Aコンセント×2ヶ口 4ヶ 8回路
 C型 60Aコンセント×2ヶ口 2ヶ 直4回路
 後フロアコンセント C型 30Aコンセント×2ヶ口 3ヶ 6回路
 ロアーホリゾンライト 300Wハロゲン×80灯 4色配線 L=18.0m 1列
 同上用フロアコンセント C型 30Aコンセント×4ヶ口 3ヶ 12回路
 舞台袖外部信号コネクタ C型 30Aコンセント×1ヶ 2面 直2回路
 (仮設電源盤組込み) DMX 512入力コネクタ×4ヶ
 客席外部信号コネクタ盤 C型 30Aコンセント×1ヶ 1面 直1回路
 DMX 512入力コネクタ×2ヶ

第1ボーダーライト 150Wハロゲン×90灯 4色配線 上下、中区分 L=18.0m 1列 8回路
 第1サスペンションフライダクト C型 20Aコンセント×32ヶ L=18.0m 1列 16回路
 C型 20Aコンセント×2ヶ 直2回路

第2ボーダーライト 150Wハロゲン×90灯 4色配線 上下、中区分 L=18.0m 1列 8回路
 第2サスペンションフライダクト C型20Aコンセント×32ヶ付 L=18.0m 1列 16回路
 第3サスペンションフライダクト C型 20Aコンセント×32ヶ付 L=18.0m 1列 16回路
 第4サスペンションフライダクト C型20Aコンセント×24ヶ付 L=18.0m 1列 12回路
 プロセニアムサスペンションフライダクト C型20Aコンセント×24ヶ付 L=16.2m 1列 12回路
 サスペンションスポットライト 1kWハロゲン 平凸レンズ 64台
 1kWハロゲン フレネルレンズ 48台
 1kWハロゲン バーライト 40台

天井反射板ライト 500Wハロゲン フラッドライト 48台 12回路
 アッパーホリゾンフライダクト C型20Aコンセント×72ヶ付 L=18.0m 1列 12回路
 フロントサイドコンセントダクト C型20Aコンセント×24ヶ L=5.2m 2列 24回路
 C型30Aコンセント×2ヶ
 DMX512出力コネクタ×4ヶ

同上用スポットライト 1kWハロゲン 平凸レンズ 48台
 シーリングコンセントダクト C型20Aコンセント×40ヶ 1列 20回路
 C型30Aコンセント×2ヶ 直2回路
 DMX出力コネクタ×2ヶ
 同上用スポットライト 1kWハロゲン 平凸レンズ 40台
 センターフォロースポットライト 2kWクセノン 2台
 同上用整流器 2台
 センターフォロースポット用分電盤 Mccb 3P 100AF/75AT×1 (メイン) 1面 直1回路
 Mccb 3P 50AF/30AT×4 (分岐)



調光室

調光操作卓 210AXタイプ	
コントロールCH	1024CH
コントロールDIM	1024DIM
プリセットフェーダ	80本×3段
キュー記憶	1000キュー
パート数	8パート
フェードタイム	0~999.9秒
ディレイタイム	0~999.9秒
ウェイトタイム	0.1~999.9秒
サブフェーダ	20本、50ページ
エフェクト	99パターン、99ステップ (トータル1000ステップ)
フラッシュスイッチ	ADD/KILL方式
パッチ	4場面+1:1場面
ディスプレイ	カラー液晶ディスプレイ 2台
外部記憶	3.5型フロッピーディスク (COMOS対応)
外部入力	DMX512/1990
調光信号	DMX512/1990 ×2系統
バックアップ	デュアルランニング方式
無停電源装置 (UPS)	1式
客席自動調光操作部	1式
作業灯スイッチ	4組
ワイヤレスリモコン	1式

ひとことPR

伝国の杜(置賜文化ホール・米沢市上杉博物館)の設計について

閑空間設計 浅野忠信 さんに伺いました。

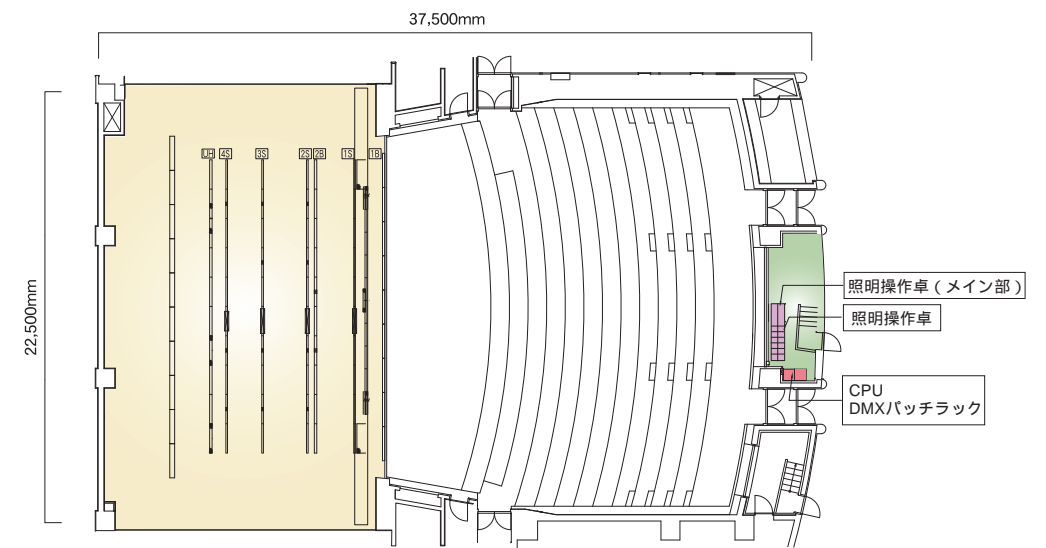
米沢城跡の一角、旧米沢工業高等学校跡地に計画された、500席のホール（山形県が整備）であり米沢市が整備した博物館と合築された複合施設となっています。

計画地と上杉神社、上杉記念館周辺の樹木と古い建物で構成される景観は日本でもあまり見られない素晴らしいもので米沢市の貴重な財産となっており、地域の人々や訪れる人々に愛され親しまれています。私たちは、ここを、置賜地方及び米沢市の回遊拠点「歴史・文化シンボルゾーン」と位置付け、この景観を守り、更に向上させることをテーマに建物の空間配置と、ひろば・緑地の構成を考えました。

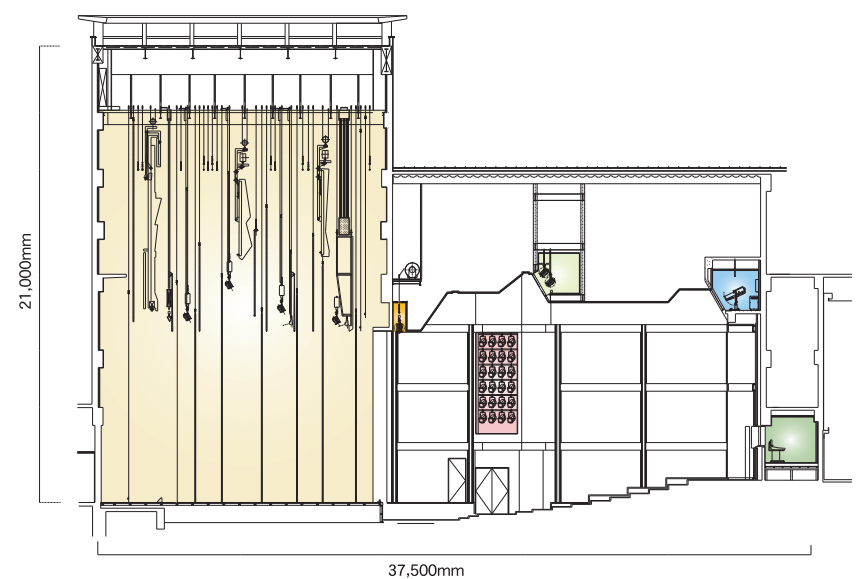
また、私たちは、この敷地の持つ特性から必然的に導き出された「継承と創造」という言葉をテーマに、古いもの歴史あるものと、新しいものとの確かな連携に基づいたシンボル性の高い建物の実現を目指しました。ホールを私たちは、①能楽堂、②劇場、③コンサートホール、3つの機能を合わせた多機能ホールとしてそれぞれの機能を十分に満足できるように工夫し、計画しました。

このホールの特性の1つは我が国でも初めての試みである、「空気浮上式移動能舞台」です。普段はエントランスホールに展示として一般の人々に見てもらうことで建物のシンボルとし、イメージアップと有効利用を図ると共に能の興行時にはステージにセットされ客席と一体化した1つの能楽堂を構成することができます。

デザイン的には「新しい和風」＝伝統的な建築形態に現代的感性を加えた表現を目指し、①周辺環境との調和、②勾配屋根と柱・梁による軸組こ空間、③深い軒庇空間、④自然な素材の使用等を要点に計画しました。



ホール平面図&断面図



ひとことPR

置賜文化ホールのオープンを迎えて

A.T.Network 代表 近江哲朗 さんに伺いました。

通常の多目的ホール機能に能楽堂機能を加えた「置賜文化ホール」は、空気浮上システムによって能舞台を自由に動かすことの可能な他に例を見ない劇場として、能楽公演を皮切りにさまざまな公演が実施されています。

一般の舞台照明設備では、あくまで主舞台を中心として負荷設備計画されますが、可動する屋根付舞台を有する置賜文化ホールでは、さらに能舞台専用の舞台照明設備が必要となりました。能楽には、あくまで均質（フラット）な明かりが基本とされます。かつ、そのための照明器具本体は極力客席からその存在を消すことが求められます。能舞台を構成するさまざまな部材のうち、軒桁（のきげた）部分で納まり、主舞台はもちろん後座、橋懸り、地謡座などにも照度落差の無い均質（フラット）な明かりを供給することは決して簡単には実現が困難となります。本舞台・後座・橋懸りにそれぞれミニフラッドライトを客席から極力視角上の障害とならないように設置し、床面および床面+1.5m（顔の高さ）の照度を測定しながら、使用する電球を100W・150W・200Wの3種類から使い分け、極力均質（フラット）な明かりとなるように調整を繰り返しました。

開館記念事業期間を無事に終え、現在「置賜文化ホール」では通常運用が進められています。熱心な舞台技術者に恵まれ、これからさまざまなトライアルと共に育てゆく施設を大切に見守ってゆきたいと感じています。